

事業シート (概要説明書)

担当課名	企画振興課	予算事業名	広報事業			
担当係名	企画情報室	上位施策 事業名				
シート作成責任者	岩垣 伸					
事業開始年度	H 1 7	根拠法令	なし			
実施方法	直接実施					
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)					
	補助金〔直接・間接〕 (補助先:) 実施主体:)					
	貸付 (貸付先:) その他 ()					
事業概要	目的 (何のために)	町民の生活に必要な行政情報を提供するとともに、町内の活動や取り組み・人物、重要な町の資源や町の施策についての情報を町民の皆さんに分かりやすくお知らせし、町政への理解・関心を深め、町政への参画、協働のまちづくりの推進を図るとともに、内外に向けた町のPR、情報発信を行う。				
	対象 (誰・何を対象に)	町民、全国、(海外)				
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・町報「広報北栄」の発行・・・毎月1回発行(年12回)。毎月おおむね28ページで5,600部を作成。自治会を通じて全戸配布のほか、町施設などにも置き、広く情報を発信している。 ・町の重要な施策・事業の情報や各課から制度変更・必要手続き・イベントなどお知らせしたい情報をとりまとめ、町民の皆さんに情報を分かりやすく見ていただけるようなレイアウトを意識して作成している。 ・告知放送(毎朝1回、緊急、臨時放送)・・・暮らしに必要な情報から防災・行政の緊急放送まで ・ホームページ・・・催事、募集、各種制度、生活情報等について発信 ・CATV・・・文字放送、データ放送についての情報の提供、番組企画に係る政策情報の提供 ・パブリシティ(マスコミ等を通じた情報提供) 				
事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を営むうえで不可欠な制度、サービス、手続き等に関する情報を、町民に正確にわかりやすく発信することは行政の責任である。また、町の政策・施策・事業等の行政情報を的確に町民に伝え、住民参画や協働の推進を図る必要がある。 ・さまざまな広報媒体の中で、多くの行政情報を毎月、広く町民に伝える方法としては、手に取って読んで確認できる紙媒体である広報紙を発行することは今後も必要である。 ・内外に広く情報発信を行うことは、情報公開、住民参画、町・町民の協働の推進にとって必要不可欠であるとともに、観光、物産振興をはじめ、地域の振興を図るために必要で、北栄町の活性化のために今後ますます重要になる。 					
コスト	平成23年度		人件費			
	事業費	6,720 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費	6,600 千円		担当正職員 6,600千円/人	6,600 千円	1.0 人
総計	13,320 千円	臨時職員他 1,800千円/人		0 千円	人	
事業費 (財源内訳・単位千円)	年度	総額 (人件費含まず)	実施方法が補助金の場合、 事業費の負担割合		財源内訳	
					特定財源	一般財源
	H20(決算)	5,556			5,556	
	H21(決算)	6,085			6,085	
	H22(決算)	6,615			6,615	
H23(予算)	6,720			6,720		

事業シート（概要説明書）

担当課名	企画振興課	予算事業名	広報事業						
担当係名	企画情報室	上位施策 事業名							
シート作成責任者	岩垣 伸								
平成23年度 事業費内訳	広報北栄 印刷代 20,000円×28頁×12ヶ月=6,720,000円								
平成23年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙については、より親しまれ、読んでいただける紙面にするため、提供する情報をさらに充実する必要がある。そのため、住民の皆さんが必要とされる情報は何かと考え、情報源でもある各課の職員を対象とした研修会を開催することで、意識や能力を向上させたい。 ・ 役場各課に「広報委員」を設置、広報委員会を新設し、インターネット（ホームページ、ソーシャルメディア等）を活用した広報の見直し充実 広報すべき政策課題、テーマ、発信すべき町内資源の掘り起こし 広報に活用すべき手段、手法の共有と調整を図る。 								
過去3年度の 事業実績	活動指標名	単位	H20年度	H21年度	H22年度				
	広報紙発行部数	部	5,600	5,600	5,600				
	広報紙平均ページ数	頁	24	27	29				
	県広報コンクール（広報誌 町村の部）		特選	入選	1席				
過去事業の 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にビジュアル面（写真等）については、県内で最も高く評価されており、魅力的な広報誌になっていると考える。 ・ 個々の施策・話題についての掘り下げ方や、誌面に登場する住民の皆さんの数がまだまだ少なく、そこを改善すれば、もっと親しみをもって頂ける広報に出来るのではないかと考える。 ・ 町内のほこるべき資源や政策テーマの掘り起こし、マスコミの活用、電子メディアの活用の面は、取り組みが弱いので、対策が必要。 								
来年度以降の 予定・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り上げる政策テーマ、資源を充実するとともに、新たな手段やマスコミの活用を図る。 ・ 町民が知りたい情報や町が町民に知らせたい情報を考え、今以上に町民に開いてもらえ、考えてもらえるような企画や編集をし、より多くの町民にとって魅力的な広報紙づくりを目指す。 								
比較参考値 （他自治体での類似 事業の例など）	平均ページ数	発行部数	編集方式	1P単価		お知らせ版	1部当たり印刷経費		
				1色刷	2色刷			カラー刷	
	北栄町	28	5600	レイアウト用紙		3.4円		94.6円	
	倉吉市	24	20500	DTP		1.8円		42.2円	
	湯梨浜町	20P + お知らせ版	6000	DTP		3.5円	4.2円	8.8円	80.2円
	三朝町	16	2900	レイアウト用紙	3.5円		7.9円		64.8円
琴浦町	24	6700	レイアウト用紙	2.1円				50.4円	
特記事項 （事業の沿革等）	平成17年11月号より毎月1回発行								